

“会員懇談会”を計画致します

NPO法人 タウンサポート鎌倉今泉台理事長 丸尾恒雄

皆さん今後どのような暮らしをしたいと思われておりますか。コロナのことはもうんざりです。早く正常な暮らしに戻りたいですね。世の中の現状は誰も判っており、過去のことは置いておき、我々NPO法人はこの一年半に及ぶブランクを今後どのように挽回してゆくか皆さんと共に考えたいと思います。オリンピック・パラリンピックも終り、衆議院選挙も終り、コロナワクチン接種も見通しがたったころ、是非会員一同に集まって戴き今後について語り合いたいです。梅雨・猛暑の時期になります。健康には充分注意され元気な姿で再会致しましょう。

皆さまの憩いの場

いずみサロン

カフェ
現在休業中

時間貸しは可



★再開時はよろしく
お願いします。

■NPO法人TSK I 第6回通常総会

～昨年に続き書面表決書・委任状、により承認



5月23日(日)第6回NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台の通常総会が、いずみサロンで開催されました。依然衰えないコロナ禍、昨年に続き感染防止のため、表決権を有する正会員全員に総会資料を事前配布、書面表決書・委任状(投票方式)の形で参加戴き、開催いたしました。

総会出席者は議長、議事録署名人、審議事項説明者の理事長、会計担当理事、監事、及び理事3名の計8名という最小人数で開催。消毒、マスク着用、換気、間隔を空けての着席、アクリル板等の感染対策を実施。

議事進行は通常通り、3丁目の柳井昭彦会員を議長に選出し、正会員総数77名、書面表決提出者68名、未提出者10名で過半数を超え総会は成立致しました。

続いて【第一号議案・令和2年度事業報告】、【第二号議案・決算報告書】、【第三号議案・令和3年度事業計画】、

【第四号議案・活動予算書】、【第五号議案・令和3年度役員監事承認】について丸尾理事長、松岡会計担当理事が説明、書面による賛成61名、委任6名、一部分反対1名で全議案が承認されました。

本来なら会員の皆さんとの活発な質疑応答が行われるのですが今回は書面にご記入戴いたご意見、提案などについては、真摯に検討し後日回答致します。(吉川)

＜万全な感染対策での総会＞

■いずみサロン草刈り・刈り込み ～今年は機械が活躍

クローズが続くいずみサロンですが、前庭では笹などの雑草が生い茂り、ツツジなどの植え込みは伸び放題という荒れ庭になっていました。そこで6月3日(木)草刈りを実施。午前中N会員が草刈り機、ヘッジトリマー(刈り込み機)などの機械持参で草刈り、刈り込みを。これまでの手作業比べ機械の威力は素晴らしく見る間に雑草、枝が積みあがる。午後は都合の付く理事も加わり、電気バリカン、刈込ばさみ等を使いトータル6名で草刈り及び後始末。暑い中作業終了後、全員ミネラルウォーターで乾杯。ご苦労様。(吉川)



＜綺麗に刈り込まれた前庭＞

空き家調査

■6月 空き家調査実施中

毎年6月を空き家・空き地調査月間と定め、調査員4人で分担し町内2000戸をくまなく歩き空き家を確認致します。調査内容は空き家の確認と共に、外観から築年数、保存状態、管理状態を目視で確認し空き家リストの作成と町内空き家マップを作製致します。9月～10月持ち主にアンケートを送り空き家の今後について持ち主の意思確認を行い、今泉台としての対応を検討致します。調査結果は次号（9月末発行）で報告致します。（丸尾）



＜空き家の保存状態など確認＞

菜園

■子育て家族の梅の実収穫体験 —5月29日/30日

NPO菜園Gは毎年、地主さんのご厚意により菜園近くの梅を収穫させていただいています。今年も5月29日（土）と5月30日（日）2回梅の実の収穫を行いました。

5月29日（土）は菜園Gで梅ジュースや梅酒などを趣味にしているメンバが中心となり、約8名で梅を収穫しました。

5月30日（日）は菜園Gの子育て家族と友達の子育て4家族と一緒に梅の収穫をしました。梅が大木となり、手に届く範囲ではあまり収穫できないため、子育て家族のお父さんに枝払いなどをお願いしました。実際に梅の木から実をもいだ経験がない子供たちがほとん

どでしたが、実が取れるたびに歓声があがっていました。1家族当たり2～3kgの収穫となりました。毎年、持ち帰って梅酒作りなどを楽しんでいただいております。（柴崎、田中）



＜4家族で梅の収穫＞

■かぜのこ会のじゃがいも収穫体験 — 6月2日



NPO菜園Gの菜園でかぜのこ会（自主保育）のエリアを割り当て、野菜の植え付けから収穫まで体験いただく企画をはじめています。3月初めに植えたじゃがいもが大きくなり収穫できる状態になりました。当日は親子6組と保育者2名参加いただきました。一人で参加することになった男の子はお母さんがいないので「帰る！帰る！」と泣き叫んでいたのですが、ジャガイモ掘りが始まるとニコニコしてじゃがいもをたくさん集めていました。やはり土いじりや自然と触れることは人を穏やかにする不思議な力があるのですね。

みんな、小さなリュックにたくさんのじゃがいもを詰めて、帰っていききました。（柴崎、田中）

＜かぜのこ会エリアでジャガイモ掘り＞

緑の保全

■ヤマユリの保全活動 —お誘いとお願ひ

梅雨も上がり盛夏の季節を迎えますが、市の木、花～山桜、ササリンドウに次いで名を馳せるアジサイに続き、かつては輸出の花形であった日本固有のヤマユリが町内外周のあちこちで散見されます。今泉台緑地ボランティア団体（町内会、NPO TSKI協働で市に登録し活動）では、玉縄桜を実生から育てる会・活動に続き、ヤマユリの会を急遽立ち上げました。コロナ禍もあり手入れが行き届かない状況の中、有志10人程で5月末から、町内のユリ分布図作成、支持棒・表示パーと共に「町内会・NPOヤマユリの会」の表示をしております。ヤマユリの適性から市・緑地、公園の外周が主体となります。

については皆様の身近な場所で結構ですので、見守り、場合によっては一緒に手入れをお願い出来れば幸いです。因みに伐り花として自宅等に持ち帰ることは禁止されております。（御法川）



＜湖畔アジサイロードではアジサイとヤマユリが同時に見られます＞